

IPNRA

発表者: 田中 大輝

1. 会議の概要

- 名称:
Integrated Photonics and Nanophotonics Research and Applications (IPNRA) 2009
- 主催／共催機関:
OSA
- 開催場所:
Hilton Hawaiian Village Beach Resort & Spa (Honolulu, Hawaii, USA)
- 日時:
12-17, July. 2009
- 発表件数:
 - オーラル251件、ポスター57件
- 概要:
“Nonlinear Optics (NLO)” “Slow and Fast Light (SL)” を合わせた3つのセッションで同時進行した。

2. 発表内容

- 田中 大輝 (*Daiki Tanaka*)

Title:

"Polarization Independent, Low-Loss, Low-Crosstalk Si Wire Waveguide Crossing"

発表概要:

低損失、低クロストークなSi細線交差導波路の偏光無依存化

反響と感想:

ポスターセッションで発表しました。掲示板が大きかったのでA1サイズを3枚用意しましたが、現地ではかなり目立ちました。1時間半の間にたくさんの研究者の方々に質問していただき、とても充実した時間を過ごせました。相変わらず英語力不足でしたが、ポスターだったので聴き取れなかったときは何度も聞き返しました。相手も根気よく質問を続けてくれたのでありがたかったです。ポスターはお互い納得いくまで議論できるのでいいなあと思いました。

主な質問は「動作原理は何ですか?」「帯域は?」「偏光無依存性は何で決まりますか?」「リブ型でもできますか?」「材料を変えても適用できますか?」といった内容でした。今回はシミュレーション結果の内容でしたので、実際に試作するのかどうかを聞かれることも多かったです。今後試作する予定だと答えると「頑張ってもらいたい」と多くの人に励ましていただきました。僕はシミュレーション結果でクロストークが-40dBまで低減できると謳っているのですが、オランダのSmit氏に「(試作して)-20dB出れば奇跡だな」と笑顔で言われたのもいい思い出です。